

岐阜県立東濃フロンティア高等学校で防災講座を行いました

令和7年11月7日（金）、岐阜県立東濃フロンティア高等学校で3年生45名に防災講座を行いました。

講座では、伊勢湾台風や9.12豪雨、土岐市で浸水被害のあった平成元年（1989年）9月洪水など過去の水害について学習しました。また、学校周辺のリスクをハザードマップで確認し、自分達が過ごしている地域にはどのような危険があるのかを認識しました。土岐市のハザードマップは洪水と土砂災害が一緒になっており、浸水想定区域や土砂災害警戒区域以外に、過去に起きた災害箇所や危険箇所、要注意箇所（アンダーパス等）など様々な情報が一目で確認できる様になっています。

VRで浸水疑似体験した後には、「とても怖かったし、いざというときの備えになり良い体験でした。」「早めの避難行動を心掛けたいと思いました。」などの感想があり、早期避難や事前の備えの重要性が伝わっていました。

伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話・防災クイズ体験では、伊勢湾台風や避難について質問をし、防災クイズでは、避難用品やハザードマップについて理解を深めました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

